

事業者向け 児童発達支援自己評価表

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動にあわせ、広いスペースや個室を用意し、工夫してスペースを作っている。
	2 職員配置数は適切であるか	○			十分に対応できるように、応援を要請する等し、一人ひとりに対応できる配置数にしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			○	視覚的支援を適切に活用しているが、トイレ・玄関等のバリアフリー化が、不十分である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか			○	トイレが男女別の空間にする必要がある。日々、清掃・環境整備に努めているが、まだ行き届かない所がある。活動とスヌーズレン室の空間を設けてる。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々、その日の対応を振り返り、情報を共有してる。定期的に会議を行なっている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者へアンケートを実施し、改善につなげるようにしている。評価表をホームページで開示している。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者向けのお便りを出すことで、日々の子どもの様子を伝える事が出来ている。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			別府発達医療センターに施設支援を要請し、子どもの適切な支援につなげた。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修や、事業所外研修共に充実している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			家庭からの情報を基に計画作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	事業所で作成した、アセスメントシートを活用している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			具体的な支援内容が設定されている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画内容の確認を随時行ないながら、意識して支援を行なっている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで案を出し合いながら、行なっている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節行事等も取り入れながら、様々な経験・体験を出来るように工夫している。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			一人一人の発達段階に合わせて、個別・集団活動を組み合わせた計画を作成している。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	児童発達新事業のあと、すぐに放課後等デイサービスの利用もあり、打ち合わせが不十分なときもある。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	必ずしも毎日ではないが、気づいた点は情報共有に努めている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をとり、支援の改善につなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に個別支援会議をもち、モニタリング等を行なっている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			保護者や保育所等と会議を持っている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			行政機関や保育所、相談員等と連携しながら支援を行なっている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			関係機関を通して、こまめに情報交換を行ないながら、支援を行なっている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	保護者や保育所等と緊急時の対応、看護師の応援等、連絡体制を整えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保育所等や学校、保護者と担当者会議をもち情報共有を行なっている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			学校、支援学校、保護者と担当者会議を行ない、情報共有を行なっている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			各種研修、施設支援等を受け、スキルアップに努めている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	以前は行なっていたが、現在は行なっていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			管理者又は、担当者が積極的に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時、保護者や保育所等と共通理解に努めている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	ペアレント・プログラムを年に2回保護者向けに、年に1回保育所等に向け行なっている。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			重要事項説明書・契約書等の説明を利用前の契約時に行なっている。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			計画時に説明を行ない、支援内容の確認同意を得るようにしている。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や連絡帳を通して、行なうようにしている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に数回、保護者参加型のイベントを行ない、交流・連携を支援している。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談内容に応じ、適任者が対応している。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にお便りを保護者向けに発行、ホームページに記載している。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			守秘義務を遵守している。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者の特性を把握して上で、配慮している。
非常時などの対応	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			秀溪会のお祭りを地域の方々向けに案内を出し、多くの方に参加していただいている。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルを作成し、取り組んでいる。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、避難訓練を実施している。防災士による職員研修を行なっている。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			必要な情報を聞き、把握している。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者より、情報を聞いて、対応している。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット・事故報告書を作成している。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に職員研修を行なっている。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束を行なっていない。	